

「海の民」と開発を考える旅



■ 日程

2014年2月11日(火)～2月18日(火)

■ 代金 16万8000円

※2月11日(火)羽田空港集合、2月18日(火)クアラルンプール国際空港解散となります。

※代金には、航空券代、到着地発給ビザ代(25米ドル)、空港税、車両手配代、ガソリン代、宿泊費、食費、受け入れ団体への謝礼、その他諸費用が含まれます。海外旅行保険代、お土産代、電話代など個人の負担は含まれません。

※海外旅行保険には、必ずご加入ください。

■ 催行人数 最小4人、最大6人

※可能な限り、無理のない日程を組んでいますが、電気や水道のない村での宿泊もあることをご理解のうえ、ご参加ください。

中スラウェシ州東部で進められている石油・ガス開発は、バジャウとよばれる「海の民」の暮らしに壊滅的な影響を与えています。漁業で生計を立ててきた人びとは、漁獲量の激減により、その日に食べるものすら確保できなくなりました。高利貸しからカネを借りざるを得ない状況に追い込まれた人も少なくありません。2011年8月には、損害賠償や漁業以外の職業訓練などを求める人びとが、開発現場を警備するインドネシア治安部隊によって射殺される事件も起きました。実は、この地域でLNG開発を主導しているのは日本の商社、生産されるLNGは日本の電力会社へと輸出される予定です。現在建設中のLNG精製プラントについても、不透明な土地収用プロセス、不公正な建設作業員の雇用などが指摘されています。わたしたちのエネルギー需要を満たすため、その生産現場がどのような状況にあるのかを理解し、わたしたち自身の生活のありかたを考えてみませんか。

■ 旅程

2月12日(水)	23:45(-1)羽田→6:30クアラルンプール(D7523便) 12:45クアラルンプール→15:50マカッサル(AK1316便) マカッサル観光
2月13日(木)	9:50マカッサル→11:10ルウク(SJ576便) トンポティカ大学でワークショップ、学生と交流
2月14日(金)	ルウク→コロバワ村 石油・ガス開発の影響を受けた「海の民」との交流、民泊
2月15日(土)	コロバワ村→バトゥイ
2月16日(日)	石油・ガス開発の影響を受けた住民との交流 バトゥイ→ルウク
2月17日(月)	6:00ルウク→7:35マカッサル(JT871便) 16:15マカッサル→19:25クアラルンプール(AK1317便)
2月18日(火)	クアラルンプール観光 14:40クアラルンプール→22:30羽田(D7522便)



申し込み締切(第1次) 2013年12月16日(月)

参加のご意志を iai-net@nindja.com までご連絡ください。その後の手続きについてお返事させていただきます。

インドネシア民主化支援ネットワーク (NINDJA)

〒157-0065 東京都世田谷区上祖師谷 1-32-2-101 iai-net@nindja.com <http://www.nindja.com>

郵便振替 00110-2-415083 ニンジャ・ツアー

旅行手配 アカデミアツアーズ株式会社(東京都知事登録旅行業第3-6311号)